
少年の決断

燕

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

少年の決断

【コード】

N3282K

【作者名】

燕

【あらすじ】

とある少年の日常…だと思われず。

少年は静かに頭を垂れていた。

ようやく春の暖かさが近づいて来たと言うのに、少年は窓を締め切り、空気の籠もった狭い部屋で一人椅子に座って呆然と、ある冊子を眺めていた。

この空間だけが、梅雨のジメジメした重たい空気のようなもので支配されている。

この少年に悲しいことが降りかかったのではない。否、寧ろこれから起こるのだ。

それは、少年の過ちを原因とするものだが、だからと言って「諦める」の一言で切り捨て、見捨てるのは些か早計ではないだろうか、と少年は考える。

飲みかけていた炭酸飲料の泡がシュワシュワと溶ける音だけが、部屋の籠もった空気を揺らしていた。

すると突然、少年の頭が勢い良く跳ね上がった。

続いて、椅子を跳ね飛ばして立ち上がる激しい音が響く。椅子から跳ね起きた少年の体には、先程には毛ほども感じられなかった生き生きとした力が漲り、カッと見開いた目は爛々と輝き、覚悟を決め

た男の色をしていた。

その姿は、勝てぬ戦に挑む死兵に似た雰囲気すら感じられた。

しかし、だからと言って。

少年はただ孤独に負けを認める気など、毛頭無かった。

そう、少年は一人では無い。

数々の苦しい修行を、地獄のような戦いを、共に乗り越えた仲間……
いや、戦友がいるのだ。

少年はおもむろに、机の端の携帯電話に手を伸ばした。そして、この状況、この気持ちをありのままに戦友に伝えるために、一心不乱に指を動かし続けた。

情けないことだということ、初めから分かっていた。しかし、自らの命運を、その戦友に託すことに、何の躊躇も無かった。

暫くして、大量の文字と、少年の真心の詰まったメールが完成する。

少年は、一度携帯電話の前で大きく拍手を打つと。
静かに送信ボタンを押した。

戦友に向けた希望のメールには、こう書かれてあったと言う。

『連休中の国語の課題の範囲が分かりません。
国語の課題の範囲を教えてください。』

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3282k/>

少年の決断

2010年10月15日23時44分発行